

エルサレムへの嘆き⑤復活論争

ルカの福音書20:27-40

2014、5、4 HKJCF

1

概観

序)①キリストの権威②管理者・地の塩・世の光 神様の似姿⇔人間の似姿③復活

1、サドカイ人の質問(1),(2)

2、イエス様の教え(1),(2)

適用)①天国は地上の延長ではない②現世と天国には決定的な断絶・審判がある③復活のイエス様とともに生きる従順・神の国中心・世界への責任的な生き方を祈ろう ⇒ 献身・従順・世界宣教・責任・再臨

2

I サドカイ人の質問(1)

1、ユダヤ人の反対①サドカイ派・祭司②パリサイ派・律法学者・熱心党③民の長老=サンヘドリン (④ヨハネとエッセネ派)

⇒サドカイ派の限界①イエス様の権威の否定②地上の延長としての天国、人間の似姿としての神様③神殿崩壊で滅亡

2、質問動機:極端な状況・聖書に矛盾?

①暴走列車(1),(2)②ナチス尋問③H.暗殺

⇒普遍的真理・聖書的倫理への挑戦?

3

サドカイ人の質問(2)

3、聖書の倫理への誤解

①教条主義:律法主義/マニュアル化

②状況倫理の強調:倫理相対/現世主義

③超霊的観念主義:世界への責任放棄

4、聖書の責任倫理(神の像・管理者・地の塩・世の光)①聖書の本質(i 創造の父 ii 救い主キリスト iii 聖霊)②天国中心③責任倫理(漸進的) 参)経済的腐敗

5、聖書解釈学・聖霊の照明・主への従順

4

II イエス様の教え(1)

1、イエス様の直接啓示:「私は言う」

①天国中心の復活理解⇔地上の延長

②結婚と性の超越⇔独身至上主義?

③「家」制度の意味と役割 申命25:5-10

2、イエス様の聖書解釈権:「聖書は言う」

①聖書の引用と解釈:最権威 出エジプト記

②神と信徒との交わりの永遠性 3: 6,15

③父なる神: 創造・いのち・永遠の愛

14,15-17

5

イエス様の教え(2)

3、復活体の特徴

①時空超越・復活体・実在 ルカ24:36-43

②主に似た理想の状態 I ヨハネ3:2

③直観的啓示/認識 ルカ24:31

4、復活の順序 I コリ15:20-28

5、イエス様の権威と反発 ルカ20:39-40

⇒論争の結果、かえってイエス様の権威が確立 反面、指導者の殺意は変わらず

←教理的質問では彼らの心は砕かれず

参)種まきの譬え

6